

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場会社名 サンコーテクノ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3435 URL <http://www.sanko-techno.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 洞下 英人  
 問合せ先責任者(役職名) 経営管理本部長(氏名) 甲斐 一起 (TEL) 04-7192-6638  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	3,269	△7.8	101	△35.6	94	△35.8	45	△46.5
28年3月期第1四半期	3,546	△5.7	157	△35.7	147	△38.8	84	△41.8

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △73百万円(—%) 28年3月期第1四半期 117百万円(△3.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	5.54	5.49
28年3月期第1四半期	10.36	10.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,074	9,930	68.9
28年3月期	14,737	10,150	67.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,698百万円 28年3月期 9,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,200	3.4	550	1.8	525	2.2	350	6.5	43.00
通期	17,500	5.1	1,400	4.6	1,330	5.8	880	8.6	108.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	8,745,408株	28年3月期	8,745,408株
29年3月期1Q	606,786株	28年3月期	606,786株
29年3月期1Q	8,138,622株	28年3月期1Q	8,138,622株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や金融緩和政策を受けて、企業収益や雇用情勢の改善など、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、為替の変動や中国をはじめとする新興国の景気減速懸念など、依然として先行きの不透明感を残しながら推移いたしました。

当社グループが関連する建設市場におきましては、民間設備投資は企業収益の改善を背景に回復基調にあるものの、公共投資については緩やかな減少傾向にあるほか、建設現場での人手不足による工事の遅れや着工件数の減少等により依然として厳しい経営環境が続いております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,269百万円（前年同四半期比7.8%減）、営業利益101百万円（同35.6%減）、経常利益94百万円（同35.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45百万円（同46.5%減）となりました。

各セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①ファスニング事業

各種設備工事等の需要回復に伴い、当社主力製品である金属系あと施工アンカーの販売は好調に推移いたしました。一方、公共工事等の需要が減少したことで、接着系あと施工アンカーの販売が低調に推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は2,393百万円（前年同四半期比7.6%減）、セグメント利益は225百万円（同19.0%減）となりました。

#### ②機能材事業

アルコール測定器の販売は好調に推移いたしました。一方、電動油圧工具関連は、国内販売が低調に推移したほか、FRPシート関連に含まれる二重床等の複合材料の販売や、電子基板関連の販売が減少いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は876百万円（同8.4%減）、セグメント利益は95百万円（同11.6%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より663百万円減少して14,074百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より444百万円減少して4,143百万円となりました。これは主として短期借入金、未払法人税等が減少した一方、賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より219百万円減少して9,930百万円となりました。これは主として利益剰余金が減少したことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年5月13日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

### (4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,615,784	1,617,180
受取手形及び売掛金	3,141,663	2,479,067
たな卸資産	2,923,763	3,016,820
その他	643,533	588,121
貸倒引当金	△2,540	△1,336
流動資産合計	8,322,204	7,699,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,357,983	1,328,135
土地	3,149,738	3,147,038
その他(純額)	722,326	702,573
有形固定資産合計	5,230,048	5,177,747
無形固定資産	46,998	46,600
投資その他の資産	1,138,617	1,149,836
固定資産合計	6,415,664	6,374,184
資産合計	14,737,868	14,074,038
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,098,206	1,025,370
短期借入金	964,163	790,004
未払法人税等	260,536	49,827
賞与引当金	122,268	223,440
その他	429,279	375,833
流動負債合計	2,874,453	2,464,475
固定負債		
長期借入金	425,843	347,491
役員退職慰労引当金	15,851	16,766
退職給付に係る負債	1,045,831	1,031,788
その他	225,430	282,847
固定負債合計	1,712,956	1,678,893
負債合計	4,587,410	4,143,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	8,591,260	8,489,855
自己株式	△244,385	△244,385
株主資本合計	9,696,657	9,595,252
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,430	24,748
繰延ヘッジ損益	-	△42,940
為替換算調整勘定	191,113	121,842
その他の包括利益累計額合計	213,544	103,650
新株予約権	48,278	48,278
非支配株主持分	191,978	183,488
純資産合計	10,150,458	9,930,669
負債純資産合計	14,737,868	14,074,038

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	3,546,243	3,269,717
売上原価	2,386,798	2,214,517
売上総利益	1,159,445	1,055,200
販売費及び一般管理費	1,001,465	953,431
営業利益	157,979	101,769
営業外収益		
受取利息	1,201	844
受取配当金	943	1,013
仕入割引	9,769	6,362
為替差益	-	4,036
投資不動産賃貸料	7,904	8,028
持分法による投資利益	199	-
その他	8,225	7,414
営業外収益合計	28,243	27,699
営業外費用		
支払利息	2,147	1,186
売上割引	30,218	28,036
持分法による投資損失	-	614
その他	6,629	5,065
営業外費用合計	38,995	34,902
経常利益	147,227	94,566
特別損失		
固定資産除却損	5,359	-
投資有価証券評価損	-	222
会員権売却損	-	3,192
特別損失合計	5,359	3,415
税金等調整前四半期純利益	141,868	91,151
法人税等	55,993	45,761
四半期純利益	85,875	45,390
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,590	299
親会社株主に帰属する四半期純利益	84,284	45,090



四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	85,875	45,390
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,735	2,311
繰延ヘッジ損益	-	△42,940
為替換算調整勘定	20,849	△78,025
その他の包括利益合計	31,584	△118,654
四半期包括利益	117,459	△73,264
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	113,615	△64,804
非支配株主に係る四半期包括利益	3,844	△8,459

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,589,768	956,474	3,546,243	—	3,546,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24,530	79,223	103,753	△103,753	—
計	2,614,299	1,035,698	3,649,997	△103,753	3,546,243
セグメント利益	278,673	108,212	386,886	△228,906	157,979

(注) 1. セグメント利益の調整額△228,906千円には、セグメント間取引消去3,389千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△232,296千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	機能材事業			
売上高					
外部顧客への売上高	2,393,648	876,069	3,269,717	—	3,269,717
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,121	52,886	67,007	△67,007	—
計	2,407,769	928,955	3,336,725	△67,007	3,269,717
セグメント利益	225,600	95,667	321,267	△219,498	101,769

(注) 1. セグメント利益の調整額△219,498千円には、セグメント間取引消去△6,603千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△212,895千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。